

## 一金沢大学サテライト・プラザ

ミニ講演 市民と語る「角間の里山」

日 時 1月6日(土) 午後2:00~3:00

会 場 石川県教育センター 2階21号室

テーマ 「角間の里山自然学校~2000年の活動と新年度の展望~」

講 師 中村 浩二 (金沢大学理学部教授)

皆さん、おめでとうございます。  
ご紹介いただきました理学部の中村  
です。私の専門は「昆虫の生態学」  
で、特に生きている虫を野外で観察  
しています。場所は角間の里山や、  
石川県内のほかに、インドネシアな  
どでもよく調査しています。今日は、  
「角間の里山自然学校」の話をさせ  
ていただきます。



皆さんのお手元の1枚大きな紙に  
は今日お話しする内容の大筋が書いてあります。あまり時間がございませんので、「里山自然学校」設立のいきさつや趣旨は省略します。本日はこのあと3時から1時間ほど「里山メイト」の討論会を予定しています。

去年の4月からこの12月までの里山自然学校の「7大ニュース」をまとめてみました。「5大ニュース」にしようと思ったのですが、なかなか絞りきれませんでしたので7つにいたしました。

(以下OHP併用)

○第1は、里山自然学校の正式行事です。(表参照)。

第2に里山を使ったいろいろな授業をやりました。田上小学校と金大の教育学部附属小学校に里山を使った授業を何回もしてもらいました。小学生と一緒にの山歩きは、それは私たち里山自然学校にとってたいへんいい経験になりました。金沢大学の授業として、まだ始まったばかりですが、いくつかの授業をやりました。

3つ目は、林学長に里山ゾーンを見ていただきました。林先生にぜひ「里山自然学校」の活動にご協力いただけるようお願いしました。

4つ目は里山の整備が進んだことです。角間の里山は、ずいぶん荒れています。昨年の夏からは大学側の大きなご理解がありまして、大分整備が進みつつあります(歩道の急なところには木階段が付き、ベンチとテーブルも配置されました)。それをはずみにして、今

度は私たちがよりよくしたいなと思っています。

5つ目は「里山メイト」の募集を始めたことです。すでに100名近い方が参加され、いよいよ活動がはじまります。特に大事な項目ですのでOHPに赤い丸をつけました。

第6は、活動にはやはりお金がいきます。幸い文部省のお金と金沢大学のお金を少しずついただき活動しております。

それから7番目は、いろいろなゲストの方に角間の里山へおいでいただきました。今日は富山市ファミリーパークの山本茂行さんがおいでになっていますが、同パークからもわざわざおいでになりました。「いしかわ自然学校」の方々や石川きのこ会の池田良幸先生にも里山に来ていただきました。そのほか金沢市の環境保全課、金沢大学職員組合、石川県農林総合事務所、石川の森づくり推進協会、金沢市の公開講座の方々など、ずいぶんいろいろな方々がおいでになり、そのたび里山を歩きながら意見交換をしてもらいました。

こういうかたちでずいぶん忙しい1年間でした。

○OHPで活動風景を紹介いたします。

これは7月1日の保全行事です。約50人近くの方が集まり、コナラ、アベマキ林内のササを刈る作業をやりました。

○これはシイタケのホダ木を運び（ずいぶん重たかった）をしているところです。作業がすんだあと皆で集まって記念撮影しました。シイタケのホダ木が積んであり、来年の春か秋になると収穫できると思います。

○これは秋の保全作業のようすです。11月にさきほどと違う場所で行いました。いっぱいクズのツルやササがあったのを切り、ずいぶんきれいになりました。そのあと記念撮影しました。背景には山道の急なところに階段をつける作業をしている人が写っています。

○小学校の行事の写真をおみせします。これは金大附属小学校の4年生が、元気に里山を歩いているところです。これは事前に私たちが附属小学校へ行き、子どもたちといろいろ話をしているところです。

○これは田上小学校で、11月に教育学部の鷺山先生が子どもに木の実とか枝で工作を教えているところです。

○これは角間の里山の向こうにある田上小学校から子どもたちが里山の峠を歩いてきて、キャンパス内に植樹をしにくるところです。里山のなかに管理用のコンクリートの道を1本だけ整備していただき、歩きやすくなりました。

○これは金沢大学の造成した空き地に小学生が来て、1人1本ずつ全部で80本ほど、角間のどんぐりの木（コナラとアベマキ）を植えているところです。私たちは子どもとのつきあいに慣れておらず、木を植えるのにも慣れていないので、石川県農林総合事務所の方々に手助けしていただきました。

○これは植えたあとの写真です。一本ずつこのように支柱を立てました。参加した子どもたちは3年生ですが、これから時々世話をしにきて自分の植えた木がだんだん大きくなっていくところをみてほしいと思います。ずいぶん里山を伐って移転工事が進んでゆきますが、このような植樹によってできるだけ環境の復元に取り組みたいと思います。

○これは10月ごろ調整池の横で、竹炭を焼いているところです。ずいぶんたくさんの方が集まりました。

○これはそのときに石川農林総合事務所の東課長さんが、農林事務所で工夫されたカマで炭焼きをしているところですが、残念ながらうまく焼けませんでした。もう一度挑戦したいとおっしゃっていました（笑）。

○そのあとバーベキューをやって、ビールを飲んで非常に盛り上がったところです。（笑）。

○これは順番が前後しますが、林学長が私たちグループと一緒に里山を歩いておられるところです。林先生は非常に植物や動物に詳しくて私は驚きました。「ぜひ、この山を何とか残したいね」という話をされておりました。

○これは一面モウソウチクが広がっていたところを伐りはらったあとの写真です。ここに写っているコナラはてっぺんにしか葉っぱがありません。タケに覆われて日が当たらなかったからです。以前は道の近くまでモウソウチクがしげり、ものすごく暗かったのですが、少し伐採したらずいぶんいい感じになりました。しかし、春になりますと、ここからタケノコがいっぱい出てきて、放っておくと2～3年で元の木阿弥になりますから、春には皆でタケノコ取りをしましょう。

○少し急ぐようですけれども、今後の予定をお話しします。これまでは4月の初めに、1年間の行事予定を発表できず「行き当たりばったり」にしか活動できていません。これからは年度初めにスケジュールを組みたいと思っています。

今年やった小学校の授業は、引率の先生方も大変だと思いますが、今年も取り組みたいと思います。金沢大学では来年度、「里山」というテーマで総合科目が始まります。「里山メイト」の募集が進んでいますが、リストが集まっているだけで、まだメイト自体の活動

はほとんどはじまっていません。これからどういうふう「里山メイト」の活動がはじまるのかが重要です。

○2001年の「里山自然学校」で、1月～3月の間でとりあえず決まっていますのは2月11日にワークショップ（討論会）をすることです。いろいろな方においでいただいて「里山自然学校」の今後についての討論会を予定しています。ゲストとして北大農学部附属苫小牧演習林の日浦勇先生に「いかに“里山”演習林を生かすか」、大分大学教育福祉科学部の高浜秀樹先生に「里山を使った地域連携」について報告をしていただきます。地元からも何人もの方々に話題提供と注文をしていただきます。

2月には「石川の森づくり 2001 in 角間」を「石川の森づくり推進協会」と共催することになっています。

冬の動物観察とか野鳥の巣箱かけ、早春の植物観察等も予定しています。これは去年の、もう1年前になりますが、冬の里山歩きの時の写真です。富山市ファミリーパークの山本さんが解説してくださり、「キツネと野良犬の足跡の違い」、「タヌキの足跡からそのタヌキの行動がわかる」とか、とてもおもしろい話をしていただきました。今年も山本さんは大変お忙しいのですが、ぜひお願いしたいと思っています。

○年度末には報告書を作って、文部省や金沢大学などのスポンサーに報告しなければなりません。これはなかなか大変な作業なのですが避けて通れません（笑）。ぜひ、皆さんからもいろいろな原稿をお願いします。

私の個人的な考えですが、今、2つ大事なことがあると思います。1つは、もっと角間の里山を知ってほしいと思うのです。といいますのは、こんなにいい山があってもまだまだ知られていないのです。学内でも知らない人が多いですし、ましてや学外では知らない人が多いと思います。ですから、まず角間の里山をもっと『知ってもらいたい』と思います。

そのためのアイディアのひとつは、角間の里山には山桜の大木が歩道ぞいにかなりたくさんあります。その桜の花を皆で歩きながら楽しもうということです。朝の8時か9時ごろ集まって、ぶらりと1時間半もあれば歩けます。それで、歩いたあと、調整池のあたりにでも集まって、バーベキューまでいかななくても、皆で火を焚いてお茶を飲み、昼前には終わるような、そんな行事をしたらどうかなと思っています。学長先生や学部長の先生方も招待したいと思います。できれば、金沢市長さんや石川県の知事さんにも招待状を出そうと思っています。来てもらえるかどうかわかりませんが、いろいろな方々に来ていただいて皆で歩きたいと思います。

これはあくまで目標なのですけれども、4月の初めに里山自然学校の行事日程を決めて皆さんにお知らせすることをぜひやりたいと思います。環境保全作業、自然観察会、里山講座など、いろいろなものをやりたいと思います。

「里山自然学校」はまだ始まったばかりだと思います。「里山自然学校」の運営体制にはソフト（やり方とかルール）とハード（建物など）がいます。里山ゾーンは金沢大学にとってはかりしれない財産だと思いますが、ただ山があるだけではだめなのです。例えば、里山メイトが集まれるような場所など、一足飛びには無理ですが、少しずつハードの整備も必要だと思います。

もう1つの大事な点は『始めること』だと思います。「里山メイト」の登録が進んでいますが、まだメイトの方々どうしてお互いの顔のつながりがほとんどありません。せっかくメイトになったが、何ができるのかわからないような段階です。メイトに参加される方がご自分が「里山自然学校」で何をやりたいのか考え、『始めて』いただきたいと思います。メイトの方々がいくつかのグループに分かれて、「私たちはこういうことをやりたい」という提案をいただきたいと思います。その希望の実現のためのソフトを考える必要があります。大学は「地域開放」と言っていますが、これまであまりやったことがありませんので時間をかけながら辛抱強くいいやり方を考えていかなければなりません。

「里山自然学校」の周りにいろいろな連携する方がおられます。例えば文部省がそうですし、石川県には「いしかわ自然学校」がありますし、教育委員会や農林水産部もあります。金沢市やいろいろな民間の団体とも、いろいろななかたちでおつきあいができ始めています。お互いに不慣れですから、まだ十分にうまくいっていませんが、どのようにおつきあいするのが一番いいか、これから皆で考えていきたいと思います。

金沢市でもボランティア講座やボランティア大学など、いろいろなボランティア養成講座をされていますが、修了したあと実践の場として金沢大学の「里山自然学校」を利用させていただきたいと思います。ぜひ「里山メイト」に御参加いただければさいわいです。

大変簡単ですけども、2000年の報告と2001年の計画をお話ししました。どうもありがとうございました（拍手）。

## 7 大ニュース (2000. 4-12)

金沢大学「角間の里山自然学校」

### 1. 里山自然学校の行事实施

「夏の保全作業. ササ刈りとシイタケのホダ木設置」

「夏休みの植物, 昆虫調べ (第1回)」 7. 29, 8. 26

「里山の炭焼きとドングリ拾い」 10. 14~15

「秋の植物調べ」 10. 28

「秋の保全活動 (森を守る里山づくり)」 11. 23

### 2. 里山を利用した授業

#### (1) 小学校の総合科目

○田上小学校

「いしかわ森の学校」石川県金沢農林総合事務所/石川県「いしかわ子どもすくすくプラン」, 竹切り, 竹細工 (7. 1), 木工 (11. 4), ドングリの苗木の植林 (11. 8)

○金沢大学教育学部附属小学校

#### (2) 金沢大学

金沢大学短期留学生プログラム「日本の自然と生物」, 教育原論, 生物学実験, 生物学実習2「角間ビオトープの水質と生物調査」など

### 3. 林学長の里山ゾーン視察 (4. 20)

### 4. 里山の整備進む

竹きり, スギ間伐, 管理用コンクリート道, 階段作り, ベンチ設置

### 5. 「里山メイト」の募集

### 6. 予算の確保 (文部省生涯学習局, 金沢大学学長経費)

### 7. ゲストの来訪

富山市ファミリーパーク (2回), いしかわ自然学校, 石川きのこ会, 金沢市環境保全課, 金沢大学職組, 石川県農林総合事務所, 石川の森づくり推進協会, 平成12年度金沢市公開講座など